

三木南地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和5年9月20日（水）
午後7時30分～午後8時25分
- 2 場 所 三木南交流センター 大会議室
- 3 参加者 三木南地区 8人
市 17人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、道路河川課長、交通政策課長）
オブザーバー 5人
傍聴者 2人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 三木南地区ふれあいバスの実現に向けた支援

【ローレルハイツ北神戸地区】

ふれあいバスの運転手確保等の課題に対して、市としてできる範囲の支援をいただける、と力強い言葉をいただいたので、当地区としてもできることはする。

また、デマンド型交通への移行についても検討を続けるので、その際には市からの支援をお願いします。

【市 長】

デマンド型交通の三木南地区をはじめ5地区への導入は、路線バスとの調整や業者による運転手の確保といった課題がクリアされれば、早ければ令和7年4月を予定している。

【ローレルハイツ北神戸地区】

市長から具体的な予定をお聞きし、大変よい話である。まちづくり協議会へもその旨を説明したい。

イ 小林東交差点内の道路標示の要望

【南ヶ丘地区】

現状として、小林東交差点に小林方面から進入する南側道路と、新広陽・桜ヶ丘・南ヶ丘地区から進入する北側道路に

において、交差点の中心がずれている。その上、道路幅も同じでないため、複雑な交差点になっている。

現状の問題点として、南側道路から進入する右折車がオーバーランして数珠つなぎ状態となり、県道神戸三木線の走行車線まで進入して待機していることから、北側道路から進入する右折車と衝突しかねない危険な事案が多く発生している。

問題解決への改善点として、交差点の中心部にひし形及び右折誘導の矢印を標示することにより双方の安全確保と右折時の容易化を図る。なお、今回の改善点の実施による投資効果として、短時間で、かつ少ない予算での実現可能性と安全への効果も高いと考える。

また、今回の交差点内における標示、例えば“この先に横断歩道あり”などの記載の可否は県道管理の県がするのか、または公安委員会から市に判断を委ねられるのか。

【都市整備部長】

ひし形マークは横断歩道の明示に使用されるが、通常交差点内では使用しないと考える。一度公安委員会に確認する。

交差点や横断歩道の明示、交通規制に係る矢印の設置は公安委員会の担当となっている。また、安全誘導や区画線は道路管理者である兵庫県加東土木事務所が安全対策のため行うことができることになっている。

【南ヶ丘地区】

交差点を通過するほとんどの人が危ないと感じている。

矢印等の標示があれば、運転手はそれに沿って走行するので、公安委員会への交渉をぜひお願いする。

【副市長】

小林東交差点北東部の歩道改良において、交差点にあるゼブラゾーンを使用し、歩道にする計画となっている。

この機会に地元地区、警察、県、市が立ち会い、よりよい交差点のあり方を一緒に考えていきたい。

【さつき台地区】

小林東交差点では通学の子どもが信号待ちで待っている際、横断歩道を曲がる車と接触する危険があるので、ガードレール前に停止線を設けていただきたい。

【小林地区】

交通量の多い時間帯は朝と夕方である。市と県の担当者が

いつ見に来たのかによって交通状況の受け取り方が違う。
朝は8時ごろ、夕方は5時半ごろが一番混雑している。
混雑状況を県や公安委員会に理解していただく必要がある。

【市長】

今回いただいた意見を含めて、警察や県、市と地域で現地で立ち会って再度確認し、意見を交わして一緒に考えていきたい。